



# すぎのこつうしん

平成27年度11月号 古川(東)町カトリック保育園

## 「あいかとうという感謝の心が育つ」

秋晴れの中、10月は芋煮会、りんご狩り、サッカー教室と行事を満喫し、子ども達のキラキラの笑顔を見る事が出来ました。子ども達が目を輝かせ、どんぐり探し、豚汁作り、真っ赤で大きなりんごのもぎ探し、夢中でボールを追いかける姿を真近で見ることが出来た事は本当に嬉しい限りです。たくさんの心弾む体験を通してこれから生き生きと生活していく子どもに成長して欲しいと心から願っています。

このような体験をすることで感動する気持ちを持ち、身近な出来事のあいかたさに感謝出来る事が、今月の目標でもあります。嬉しいなど思っているつもり「あいかとう」の言葉が言えなかったり、家族の間だと余計に言わなくても分かるだろうとか、してくれるのが当たり前といった気持ちで言わずに済ませてしまうことが、多々あると思います。親が感謝の気持ちを持たず言葉にも表わさないのに子どもにだけ、言わせようとするのは御門違いです。私たち大人が常に「○○はあいかたい事だね」と近い事に感謝の心を持ち、子どもに伝え、一緒に感謝の心を表わすようにしていけば、きっと子どもは身の回りのことに目を向け感謝の心を持つようになるのではと思っています。

誰もが何事にも感謝の気持ちを持って生活して行けば、素敵な世界になると思います。小さい頃から感謝する心を知らせていきたいですね。今日から家庭でも始めましょう！！

<園長 平野義子>



### 行事予定

13日(金)七五三つの集い

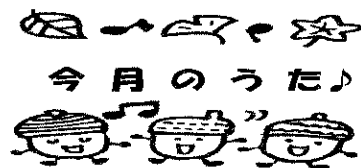
20日(金)誕生会

?日 避難訓練

5日	古川第三小学校職場体験	9日~21日	保育実習期間
12日 13日	古川南中学校職場体験	9日~16日	高等看護学校生実習期間

## 11がつうまれのおともだち

♪おたんじょうびおめでとう♪



## 今月のうた♪

### 「ことだちは」

1. どちらのどいは ちいさくても 2. わたしたちは ちいさくても 3. わるいことは ちいさくても  
おまもりなさるー かみさま おめくみなさるー かみさま おきらいなさるー かみさま

### 「きのこ」

1. きききのこ きききのこ /コ/コ/コ/コ 2. きききのこ きききのこ ニキニキニキニキニキ  
あるいたしなない うでなんかださなない  
きききのこ きききのこ きききのこ きききのこ  
/コ/コあるいたしなないけど ニキニキキうでなんかださなないが  
ぎんのおめあめふつたらば ぎんのおめあめふつたらば  
せいのかのびてく るるる るるる かさかおあさく なるなる なるなる  
いきてる いきてる いきてる いきてる いきてる いきてる いきてる いきてる  
きのこおいきてるんだね きのこおいきてるんだね

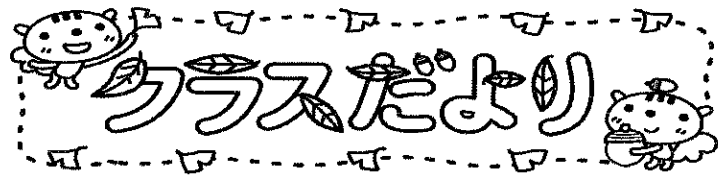


### ◆おとうさん・おかあさんから◆

○○は、9ヶ月頃より、お世話になりあつという間にひつじ組の6歳になりました。(今では、弟も出来、頼もしいお兄ちゃんです。)入園当初は、毎朝のように大泣きをして先生方を困らせていたのを覚えています。こねこ組の時は、少し不安定な時期もありましたが、先生方に色々とお助け頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。残り少ない保育園生活を楽しみ、たくさんの思い出を作って欲しいと思います。 <ひつじ組 ○○ ○○くんのお母さん>

カトリック保育園には、○○の姉の○○が1歳の時からお世話になり、長男の○○も含めてかれこれ10年以上通いました。長い長いと思っていた保育園生活もあつという間に過ぎ、もうすぐ終わりの時期を迎えようとしています。特に3兄弟の末っ子の流海は甘えん坊で、とにかく、祖父や祖母など家族みんなで保育園に迷い出していたので、先生方には大変ご迷惑をお掛けしたのではないかとと思っています。春夏秋冬、保育園を舞台に、お友達や先生方との間で、その学びや遊びの中で刻まれた沢山の思い出は、本人はもとより私たち家族の心の中にも、いつまでもいつまでも残るものと思っています。あいかとうございました。 <ひつじ組 ○○ ○○くんのお母さん>





### ぼんび組(0歳児)

- <ねらい> ・「ありがとう」という気持ちを動作や言葉で表す  
・生活、遊びを通して友だちの存在に気づき、関わろうとする
- <家庭連携> ・何かしてもらったり、物をもらうなど感謝するような場面になった時は言葉と動作で手本を見せながら知らせていきましょう。  
・周りにいる友だちに声を掛け、姿を見せることで、友だちに関心を持てるようにしていきましょう。

### ひよこ組(1歳児)

- <ねらい> ・「ありがとう」の気持ちを言葉と動作で表す  
・友だちや保育士と関わりながら、ごっこ遊びを楽しみ、一緒に過ごすことを喜ぶ
- <家庭連携> ・お父さんお母さんが「ありがとう」と表すことで、嬉しさを伝えましょう。  
・朝夕と日中の気温差が大きいので、調節しやすい衣服を用意して下さい。また、随分と過ごせるように薄着を心がけましょう。

### こい組(2歳児)

- <ねらい> ・保育士、友だちとのやりとりの中で「ありがとう」という気持ちを表す  
・持ち物の整理など身の周りのことを自分でしようとする
- <家庭連携> ・何かをしてもらった時に「ありがとう」と言葉で伝えられるように知らせていきましょう。  
・甘えたい気持ちを受け止めながら自分でしようとする気持ちになるよう関わり、出来た時はたくさん褒めてあげましょう。

### こねこ組(3歳児)

- <ねらい> ・いろいろな恵みに気づき、感謝の気持ちを表現する  
・経験したことを話したい、聞きたいとする
- <家庭連携> ・些細なことに対しても「ありがとう」と一言添え、感謝される喜びを感じたり、素直に感謝の気持ちを表せるようにしましょう。  
・園での出来事をなど、子どもの話に耳を傾けましょう。また、同時に子どもがゆっくと話を聞く時間も設けましょう。

### うさぎ組(4歳児)

- <ねらい> ・様々な恵みに対し「ありがとう」と感謝の気持ちを表す  
・絵本や物語など親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう
- <家庭連携> ・様々な人に支えられていることに気づき、心から「ありがとう」と感謝できるよう知らせていきましょう。  
・長い物語を集中して見れるように声を掛け、どんな内容なのか想像し、話したい絵で表現できるようにしましょう。

### ひつじ組(5歳児)

- <ねらい> ・人、事象、自然等様々な恵み、行いに感謝し心から「ありがとう」と言える  
・相手の気持ちを考えて行動する
- <家庭連携> ・感謝の気持ちを言葉で伝え合う喜びを味わえるよう互いに言い合うようにしましょう。  
・相手にも考えや思いがある事に気づき、どうすべきかを考えるよう知らせていきましょう。

### 給食室

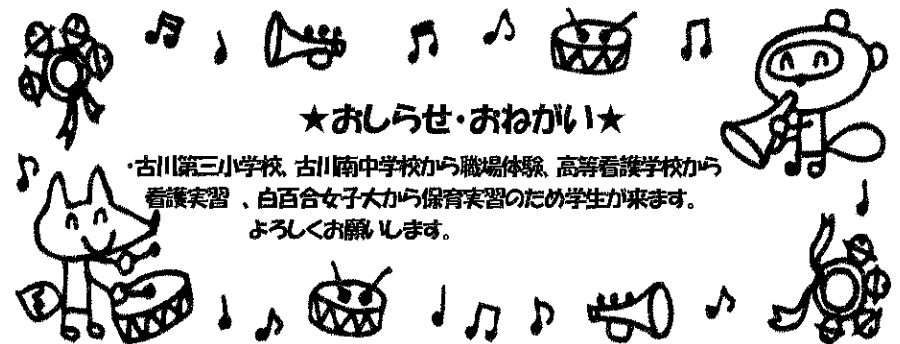
- ・食事の挨拶、配膳やおかわり、下膳する時「いただきます」「ありがとう」「ごちそうさま」言葉は違いますが感謝の気持ちがこもっています。心の中で思うのも大切ですが声に出して言うこと周りの人も気持ちよくなりますよね。ご家庭でも作ってくれた人、手伝ってくれた人に感謝の気持ちを込めて食事の挨拶をしましょう。



「ありがとうという感謝の心が育つ」

生活の中で友だちに片付けを手伝ってもらったり落ちていたものを拾ってもらった時も知らない振りをしてもらって当たり前と思っているのか感謝の気持ちを表さずにいる子もいます。「何て言うの?」「ありがとうしてね!!」と声を掛ければ「ありがとう」と話しますが、無理矢理言わされているような気がします。しかし、「嬉しい気持ち」「心が温かくなる」ことで自ら感謝の気持ちを伝えられるのではないかと考えます。私たちは子ども達と接する中で、些細なことでも「〇〇くん(ちゃん)ありがとう」「先生、嬉しい」と大げさなくらい感謝の気持ちを伝えるようにしています。すると自ら「ありがとう」と言えるようになってきた子もいます。無理に言わせずに保育士が態度で表していく事が大切だと考えています。友だちとの関わりだけでなく、様々な恵みに感謝し合えるよう大人が見本となっ知らせていくことで自然に感謝の気持ちが育っていくのではないかと考えます。

<うさぎ組 木村 友香>



★おしらせ・おねがい★

・古川第三小学校、古川南中学校から職場体験、高等看護学校から看護実習、白百合女子大から保育実習のため学生が来ます。よろしくお願ひします。



あなたの一分間拝借！

2015年11月1日

物質文明は私たちの生活を豊かにし、自分の部屋に居ながら世界の出来事や地球の裏側(うらがわ)に居る人々とコミュニケーション出来るようになったことは素晴らしい事と思いますが、その反面人間味溢れる温かさを欠く影なる面もあり、考えさせられることの一つに機器の存在があります。短絡的に豊かな文明と錯覚しないように心掛けたいものですね。

機器を仲介として物事を分かち合う世界には、人間味あふれる「受け答え」が乏しいので、人間社会の尊厳、人生のイロハである「ありがとう」という感謝の心が感じられなくなり、こうした空気が家庭内にまで忍び込み、家族同士の会話にも「愛」が失われる原因になっているのではないかと危惧するのは私だけではないと思います。胸襟を開いて腹を割って本当の気持ちを分かち合うことが出来ないところに偽装世界が一人歩きをして世を混乱させているような気がしてなりません。機器の僕(しもべ)にならないように精神文明、人間だけが与えられている愛の文明の力に心の目を向け人間らしく生きる努力をいたしましょう。

聖書に「人は、パンだけで生きる者ではない。神の口から一つ一つの言葉で生きる。(マタイ4の4)」と書かれているイエスキリストのみ言葉に心の耳を傾けてほしいものです。

11月の心の目標は「ありがとう」という感謝のこころを分かち合ひましょう！」です。  
感謝は、人格性を表す印、謙遜と愛のしるし、福音への道、神に至る道！  
「ありがとう」という言葉の意味は、とても素晴らしい深い意味を私たちに教えてくれます。  
人間性教育の基本(イロハ)を表す言葉といっても過言ではないと思います。育児の基本の一つとも言うことが出来ます。乳児の時から教えなければならぬことがその言葉の文字に秘められていることに気がつくます。  
ポルトガル語で「ありがとう」を *Obrigado*(オブリガド)と言うそうです。この意味は、義務の意味という意味です。因みに英訳すると *obligation*(オブリゲーション)、同じく義務の意味で、人としてありがとうということは当然なことですよ、義務的なことですよということを表している言葉なのです。どんな些細なことにも言わねばならない意味合いを心に刻みましょう。

ラテン語では、「ありがとう」を *Deo gratias*(テオ・グラティアス)と言います。その意味は「神様ありがとう」という意味です。中国語では、「ありがとう」を「多謝多謝」と言い、日本語では、滅多にないことを指して「有り難きこと」から「ありがとう」という言葉が生じたといわれています。ここから「かたじけないこと」「恐れ多きこと」という畏敬の念が表されるのも人間ならではの言葉の深層と受け止めて大切にしたいものですね。

新約聖書ルカ福音書に次のように啓示されています。  
通りかかったイエスを見た重い皮膚病に罹り社会からも家族からも見捨てられた10人(9人はユダヤ人、1人はサマリア人)が清くなりたい、癒(いや)してほしいと叫ぶ姿をご覧になり、ただ一言「ユダヤ教の祭司の所に行って体を見せ完治したことを証明してもらいなさい」と仰せられた。途中で癒されて乳児のようなきれいな体になったことに気が付き、欣喜雀躍、家族の所に帰りました。ところがイエスのところに感謝を告げに戻った人、それはユダヤ人ではなく、サマリア人だけだったのです。イエスはその時、「私は10人癒した筈だが、後の9人は？」と嘆かれ、外国人であるサマリア人に「あなたの信仰があなたを救ったのですよ。」と仰せられた。

謙虚(けんきょ)に満ちた感謝の心に、神は信仰の恵みを与え、イエスは永遠のいのちを約束する！

- 感謝、それは言葉より心の問題です！
- 感謝、それはその人の品格を表すしるしです！
- 感謝、それは謙遜(けんそん)の印と言われます！
- 感謝、それは愛の印です！
- 感謝、それは新しい恵みの基となる道！
- 感謝、それは神に通じる道！

一人ひとりの感謝の心が、家庭に学校に職場に、あなたの出会いに豊かさと、潤(うるみ)いで満たされる霜月の日々でありますように祈念いたします。

善きサマリア人の感謝の心を模範として、人生のイロハである「ありがとう」を分かち合えるよう努力しましょう。  
あなたの感謝の心が、あなたを真の信仰に導き、あなたを救う！

カトリック古川教会  
司祭 川井 啓

